



ASIS インターナショナル日本支部  
広報担当理事 長瀬 泰郎



今月は、11月19日開かれた ASIS インターナショナル日本支部通常総会と、11月20日の月次ミーティングを紹介します。

## ■ 日本支部総会

### ① 2007 年度事業報告

#### ・ 月次ミーティングの定着化と特別講演

昨年まで年 2 回だけだった研修会に加え、セミナーを毎月開くことにしました。7 月は ASIS 顧問のシーゲル博士ほか、国内の専門家による BCM セミナーを開催しました。

1月	これからのASISインターナショナル日本支部に期待すること	Neil Bortnak コロムビアミュージックエンタテインメント(株)
2月	今企業が取り組むべきリスクマネジメントと情報セキュリティ	藤本 正代 富士ゼロックス(株)
3月	TAPA ～倉庫セキュリティによる事業展開の可能性～	徳原 義平 裕幸計装(株)
4月	アメリカ大使館から見た日本の犯罪状況やセキュリティ	Gentry O. Smith 米国大使館
5月	欧州における出入り管理(セキュリティゲート)システムについて	富田 良 日本カバ(株)
6月	多様化する業務リスクへの傾向と対策 —現在、安全管理担当者が最も頭を悩ませている懸案事項とは何か	宮岡 泰治 ヒル・アンド・アソシエイツ・ジャパン(株)
7月	社会セキュリティにおけるERMと事業継続について	Marc Siegel,他4名 ASISインターナショナル セキュリティマネジメントシステム担当顧問
8月	テロ情勢の注目点 -2008年サミットと北京オリンピックを前にして	益田 哲夫 日本アイエス・コンサルティング(株)
9月	「ここまで来た、情報セキュリティの脅威」	安田 晃 ICT創研技術士事務所
10月	ASIS2007・大会参加レポート	徳田、長瀬、平野(貴) ASIS日本支部

#### ・ 本部トップとの連携

チューパ会長およびスタック事務総局長と密接に交流し、日本支部活動について様々な支援と助言を受けました。

#### ・ 米国大使館との連携

米国大使館セキュリティ担当並びに商務部と活発に交流しました。セキュリティショー2007(3月)の商務部ブースでの ASIS 紹介展示のほか、商務部主催 ASIS 世界大会ツアーの企画と実行に協力しました。



総会会場



講演するキム氏



記念撮影



懇親パーティ

### ② 2008 年度事業計画

#### ・ 法人格の取得

任意団体の日本支部を大きく成長させ、国内の産業社会に貢献することを目的として法人格を取得するため、早急に「法人化プロジェクトチーム」を発足させることとしました。

5年後に1,000名、10年後に5,000名の会員規模を目指します。

#### ・ 2007 年度活動の強化

定例ミーティングを「ASIS セキュリティミーティング」として成長させるほか、米国本部、米国大使館ほか、各種団体との交流を活発化させます。

### ③ 米国大使館セキュリティ部門による講演

米国大使館、ネイサン・キム氏が「米国大使館保安課が担う安全保障活動」と題して日本を含む外国におけるセキュリティ維持活動について講演されました。

## ■ 11月の月次ミーティング

11月20日の月次ミーティングでは、有限会社PURA 代表取締役ドノフリオ スティーブ(Steve Donofrio)氏と防犯コンサルタントの伴野真理氏が「犯罪者からの脱出法 (Be Your Own Bodyguard)」と題して講演を行いました。



ドノフリオ氏



伴野氏

不幸にして自分が犯罪者に遭遇したとき、どうやって自分の身を守るべきでしょうか。これまでの月次ミーティングとは違い、ワークショップのようなスタイルで具体的な対処方法が提示されました。とはいえ、いわゆる護身術のように力をもってして自分の身を守るのではなく、被害を受けない、あるいは最少に抑えるための対処法がポイントです。



講演の様子

次の5つの原理で対処することが重要です。

1. いつでも必ず息をすること  
息をすることで、考え、行動ができます。
2. 置かれている状況を把握すること  
公共の場所では移動するより動かないこと

が重要です。他に人がいない場所ではなるべく早く脱出することが必要です。

3. 「襲撃者が何を欲しいのか」自分に尋ねる  
強盗犯、支配犯、精神異常者の違いや場所などによって判断します。
4. 「どうやって逃げる」か自分に尋ねる  
強盗犯が欲するものをすぐに与えて時間をかけないこと、支配犯には自分がコントロール権を持つように努めること、精神異常者に対しては何か創造的なことをすることです。
5. 思いがけないことをする  
犯人が予想しない、思いがけない行動をとることはしばしば効果的です。

暴力など、自分への直接的な脅威に対する実践的な対処を扱った今回セミナーは、普段と違った新鮮な印象を参加者に与えました。

## ■ ASIS インターナショナル日本支部

ASIS インターナショナル日本支部は次のように積極的な活動を展開しています。

- 1) 月次セミナーの定期開催
- 2) セキュリティ専門家(特に在日外国企業のセキュリティ責任者)との情報交換
- 3) 事業継続計画の専門家との情報交換
- 4) 公的機関セキュリティ専門家との情報交換

日本支部入会のメリットは次のとおりです。

- ・ 月刊誌「セキュリティ・マネジメント」の購読
- ・ 月刊誌「月刊セキュリティ研究」の購読
- ・ 各種ボランティア活動への参画

このコーナーへのお問い合わせや入会お申込みは  
ASIS インターナショナル日本支部 事務局まで

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-2-17  
日本保安人事株式会社内  
TEL 03-3255-3468 FAX 03-3258-7630  
E-Mail [info@asis-japan.org](mailto:info@asis-japan.org)/  
[www.asis-japan.org](http://www.asis-japan.org)